

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	保健体育総務管理事業(日生)		コード	03-02-06-05	担当課係	市民スポーツ課(日生) 体育振興係
事業実施期間			担当者	岡崎 弘子	電話	0869-72-1085
総合計画 事業(政策)体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり				
	中項目	生きがいのあるまちづくり				
	小項目	スポーツ・レクリエーション				
	施策	スポーツの普及活動と指導者の養成・確保				

事業について	
目的	市民が健康に過ごせるように、各種スポーツ活動や休養ができるよう環境を整備・充実させ、スポーツ振興を図る。
対象(誰のために)	日生地域のスポーツを始めたい人、楽しみたい人、健康づくりをしたい人など誰でも。
内容	保健体育事務、ヘルスパ日生管理運営事業補助金、ヘルスパ日生高齢者健康づくり補助金

事業の結果								
実施項目	17年度							
	回数など	(単位)	回数など	(単位)	回数など	(単位)		
	ヘルスパ日生開館日数	304 日						
	ヘルスパ日生風呂利用者数	54,705 人						
ヘルスパ日生年間利用者総数	88,728 人							
事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	12,749	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	2,655	受益者負担		人件費		受益者負担	
			市債				市債	
	合計	15,404	一般財源等	15,404	合計	0	一般財源等	0
	必要人員	0.35	人					
結果指標①	結果指標名	ヘルスパ日生管理運営事業補助金						
	結果指標量	54,705						
	単位	人						
	対前年比	0.00%						
結果指標②	結果指標名	ヘルスパ日生高齢者健康づくり補助金						
	結果指標量	88,728						
	単位	人						
	対前年比	0.00%						
	事業費	500,000	円					
	単位当たりコスト②	6	円					

事業の成果			
成果指標名	ヘルスパ日生年間利用者数	式又は説明	ヘルスパ日生総利用者数(風呂・プール・シム
成果指標量	88,728		
対前年比	0.00%		
到達目標値	90,000	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

事業の目的、対象内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標と留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	C (ヘルスパ日生についてがメインの事業になっているが、ヘルスパ日生は本来健康維持増進、保健関係施設であるため、保健福祉部に管理していただくのが良いのではないかとと思う。) 体育館が築18年、ヘルスパ日生が築15年と施設の老朽化が見え始めており、これを有効に利用していただくPR方法などを考える必要がある。		評価区分 <A~E> C
------	---	--	--------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	60,000	結果指標量②	90,000
目標値 成果指標量	150,000		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	青年・中年・壮年層にPRをする	平成19年度	利用者数の拡大